



今年度の成果と課題

今年度の成果と課題

今年度も、部会ごとに「授業改善・確かな学力の向上」をそれぞれ大きな柱として研修を行った。特に、小中合同部会においては、中学校区ごとにそれぞれ特色ある部会を設け、小中連携を図りながら研修を進めることができた。また、柴橋小学校、白岩小学校、陵東中学校の公開授業研究会を通して、教育実践の向上に活かせる成果を得ることができた。

《今年度の成果と思われること》

- 1 公開授業研においては、柴橋小学校では「主体的に学び、考えを表現する児童の育成を目指して～算数科を通して」、白岩小学校では「自ら学び続ける子どもの育成」、陵東中学校では「自ら考え、正しく判断し、行動できる 人間性豊かな生徒の育成（自律・自立）」をそれぞれ研究主題とし、2年目として進められてきた研究や授業実践を通して学ぶことができた。個別最適な学びと協働的な学びの両立を目指し、一人一台タブレットPC端末を活用した授業実践や自己調整力など、付けたい資質・能力を明確にした授業づくりの工夫について、各研究員が互いに学ぶことができた。
また、研究1年次である、寒河江小学校、陵南中学校、陵西中学校の3校が、子どもたちの確かな学力の育成に向けて研究を進めてきた。
- 2 今年度の全体講演会では、東京学芸大学高橋純教授より、「子ども一人一人が問題解決をする授業づくり」という演題でご講演をいただいた。子どもの思考力・判断力・表現力等を育む授業づくりを行う上で、子ども一人一人が問題解決をする過程において、個別化・複線化、学習過程の繰り返し、ICTも活用した他者参照や協働、見方・考え方の重要性についてご教授いただいた。さらに、授業の複線化の考え方について、複線化の観点や主な基礎スキルや学習環境、具体的な授業実践事例について紹介いただき、大変実りのある講演会となった。
- 3 研修部会では、所員の指導力向上及び資質向上を図るため、中学校区ごとに小中学校の教職員が集い、「授業改善・確かな学力の向上」について話し合うことで、系統的な学びについてそれぞれ深めることができた。また、課題研究部会においては、「読解力（汎用的な資質・能力）の育成について」をテーマに、リーディングスキルへの理解を深めるための講義・演習や各校における読解力を育むための実践について交流し、充実した研修を進めることができた。
- 4 学力対策委員会の各委員から、各校のアクションプランを提出していただき、学力対策について共有することができた。特に、本研究所の基本方針となる「自立した学習者」の育成を踏まえ、「ICTを活用した新しい学び方」について研修を重ね、各校での指導改善に役立てようとしているところである。

《来年度の課題と思われること》

- 市教育研究所と各研修部会、各校における学校研究との一体的な研究推進に向けて
今年度も各部会・各校のテーマに基づいて、所員による研究・実践を積み重ねることができた。その一方で、それぞれが個別の研究となり、研究内容の波及やその深化において課題が残った。今後はより組織的・継続的な実践研究を進めるため、学力対策委員会や課題研究部会、中学校区ごとの研修部会、さらには各校での学校研究において、一体的な研究の推進が図られるよう、工夫する必要がある。
また、令和4年度より、児童生徒の「読解力（汎用的な資質・能力）」をテーマに課題研究部会の研究を進めてきている。今後も読解力を育むための授業実践を更に重ねるとともに、指導の成果による経年変化を捉えられるようにすることで、汎用的な資質・能力となる「読解力」を育成するための授業改善を進めていく。